



# みのわマックを支える会



2018年12月1日

みのわマックを支える会発行      みのわマックだより      第299号

事務局 〒114-0023 東京都北区滝野川7-35-2

TEL 03-5974-5091      FAX 03-5974-5093

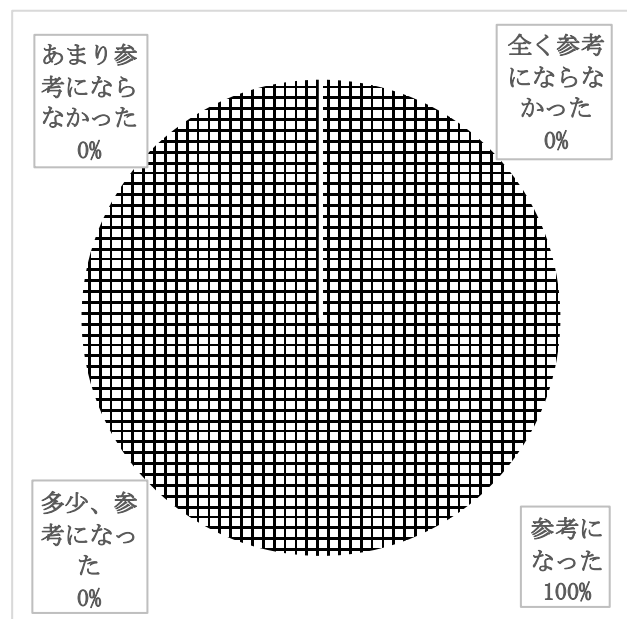
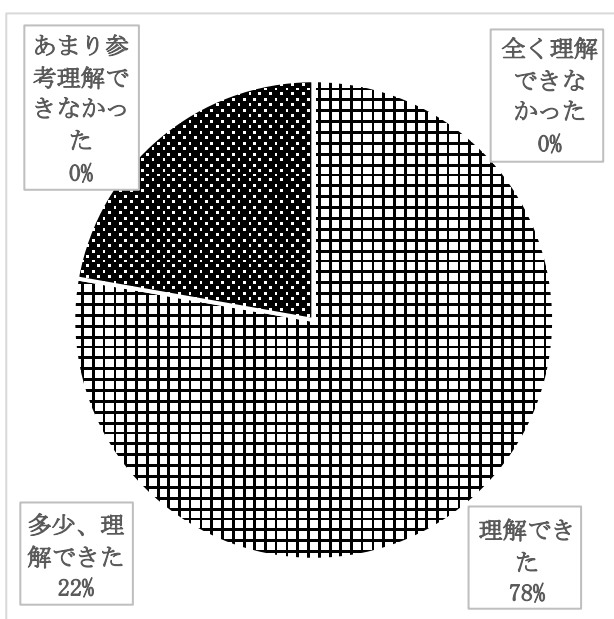
郵便振替番号 00110-8-363663 (ジャパンマックを支える会)



**今回は、7・8・9月に行われたジャパンマック施設見学会で、参加者の方にアンケートを協力して頂いた内容です。**

## 1. 午前の部 見学内容・資料について

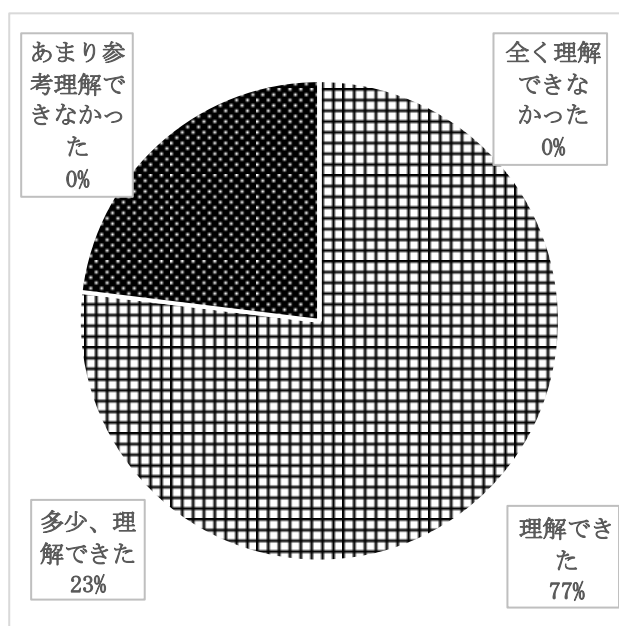
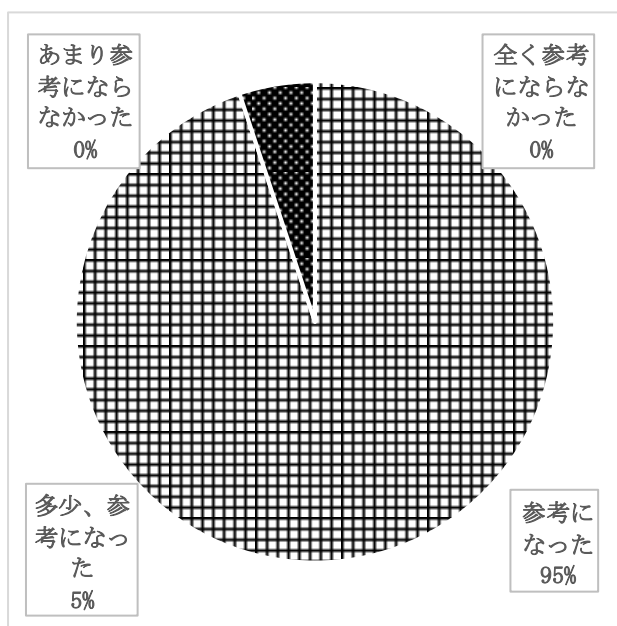
・みのわマックにて説明会およびミーティング参加。



- ①依存症について、いかに自覚し、主体的に取り組むかを伝えていく事の重要性を感じました。また、実際のミーティングの場面を経験させていただいたため、非常に参考になりました。
- ②以前は、アルコール依存の方は最終的には自らの意思が弱いから陥ってしまうと考えていたが、ミーティングを見学させていただくことで、一人一人の方が自らの過去に向き合い、頑張っているのだということを感じた。
- ③司会の方のサポートが話しやすい雰囲気を作っていると感じました。参加者の皆様の話を聞いて、過去・今後の自分と向き合える方が多く驚きました。ミーティング後のアフターフォローも聞いて、その様な配慮、支援、学びになりました。

## 2. 午後の部 見学内容・資料について

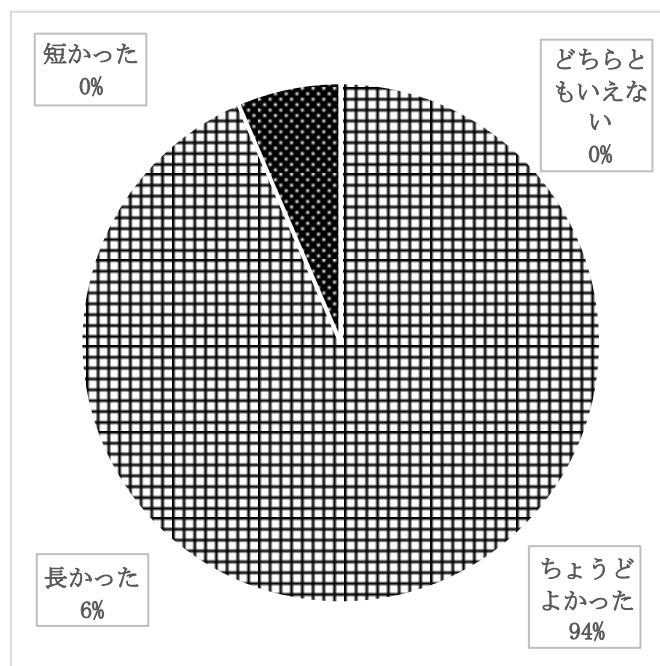
- ・ウィメンズアディクションサポートセンター オ ‘ハナ、ファミリーエイド、R Dデイケアセンターおよびマックチャレンジサポート各施設にて見学。



- ①アディクションの解決について理論的に学ぶなかで、各依存症は意志や根性などの精神論では理解できないことを知れた。私のこれまでの担当ケースには依存症の人が少なく、対応することがほとんどなかったが、今後のケースの中でアディクションを持ったケースへの対応を考えるきっかけとなった。
- ②同じ苦しみを味わった者だからこそ言うことのできる、伝えることのできることを感じ、表面だけを知っている自分が簡単に何かを言うことはしてはならないのではと感じた。自分にもできることを考えていきたいと感じた。
- ③この集まりがアルコールやギャンブル依存症の人だけですと云われたとしても、信じられない人たちばかりで、これをこのような問題は本当に身近にあるんだと思わされた時間でした。
- ④支援制度が文字だけだと頭の中で整理がつかないところでしたが、現場を見て、直接質問ができたので、今後担当のケースで対象者がいた時に適切な対応がとれると思います。
- ⑤RD、就労移行支援、OHANA、ファミリーエイドを見学させて頂きました。前職が障害関係であったため、就労移行支援の事業所を見学させて頂く機会は何度かあったのですが、依存症メインの事業所は初めてでしたし、希有な事ことだな、と思いました。是非定着支援もやっていただきたいです。
- ⑥男性のミーティングと女性のミーティングの雰囲気の違いを感じました。「もがいている」とおっしゃっていた方の言葉が印象的で、今までの辛い経験や、今現在立ち向かっている様子がみなさんみてとれました。

- ⑦午前中の見学と併せ、男女のミーティングの様子を知る事ができ、違いを知れたのが良かったです。また、生活訓練→アフターフォローまでの流れや家族教室もあり、幅広く支援を行っていることが知れて良かったです。
- ⑧オハナでは、沢山の女性が自分の依存症の状況を語っていて、最初は日常的な事だったものが、依存症にまでなってしまうと云う事が、より実感出来ました。
- ⑨男性のグループとはまた違った話が聞けて良かったです。司会の方の経験談も多く聞けて参加者も話しやすいのではと感じました。様々なステップに合った施設、プログラムを知ることができ、とても参考になりました。多くの質問にお答え頂きありがとうございました。
- ⑩女性に特化した、オハナを大変興味深く拝見しました。障害や疾病にとらわれず、複合的なサービスを提供する、という考えもあるとは思いますが、それぞれの特性に合わせた専門的なサービスは今後も必要だと感じます。

### 3. 見学会の開催時期、見学時間、時間配分について



#### 4. 全体を通しての意見・感想

- ①自分の担当のケースの方でアルコール依存の方がいるのですが、今回の見学会でアルコール依存の方の印象が大きく変わった。また、依存症の方へのサポートも色々あることを知ったので是非利用していきたいと感じた。
- ②今まで、J-MACについて何となくしか知らなかったもので、とても参考になりました。どこかにつなげるのは、なかなか大変ですが、依存症の人にとっては、どこかにつながることがとても大切なことだと分かりました。今後は、依存症の人に関わったら、少しでも多くの人をつなげていけたらと思います。
- ③すべての施設をまわらせていただいて、ジャパンマックで行われているプログラムの全体把握ができました。回復したスタッフの方も、自助グループに参加していたりと、グループのつながりが広いと思いました。気持ちに寄り添えるスタッフさんが当事者の近くにいることは、心強いと感じ、保健師としてどのように本人と関わるべきかを考えるきっかけになりました。
- ④アルコール依存症という病気もよくわかっていなかったし、回復施設があることも知らなかったもので、今回ミーティングに参加させて頂いたり、見学させて頂いたことで大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ⑤RD デイケアセンターのような取り組みは今日初めて知り、とても勉強になりました。CW をやっていたので自助グループは名前は知っていましたが実際のマックミーティングに参加でき、とても勉強になりました。見学の受け入れを引き続きしていただけると、助かります。

- ⑥一番印象に残ったのは、皆さんが自分と向き合い言葉にしている場面に立ち合えたことです。回復までの道のりには非常に大切なことなのだと思います。
- ⑦マックのことを1から丁寧に説明して頂き、また施設も見学させてもらえたことは大変有難いことでした。マックに通所している人がどんな事にどのように取り組んでいたのかを見られました。依存症に対して少し考えさせられるようなこともあり、また多くのことを学ぶことができました。
- ⑧午前中のミーティング見学は、どんなことをしているのかという疑問が解けたため貴重な経験になった。依存症回復のカギは考え方を変えることだと思えたのが良かった。
- ⑨支援していく中で、依存症とはどういうことか理解しないまま支援することは良くないことと感じた。私自身、依存症に対し 100%共有できることは有り得ないため、ジャパンマックでの支援の大切さを感じた。
- ⑩みのわマックさんでいただいた昼食が美味しかったです。ごちそうさまでした。ケースワーカー業務に活かせる体験をさせていただきました。
- ⑪施設を利用している皆様やスタッフの方々に温かく迎えて頂き、このような施設に対して無知なため緊張していましたが、とてもアットホームな雰囲気で見学させて頂きました。誠にありがとうございました。どの施設の方も皆様優しくて、依存症の方が自分の気持ちを表に出しにくいと言う話を聞き、御本人の優しさから来るのかもしれないなとも思いました。
- ⑫お忙しい中ご対応いただきありがとうございました。福祉の支援において、現在はどこも発達障害の方への対応で課題をかかえることがあることを実感しまし

た。今回の見学を今後に活かしたいと思います。ありがとうございました。

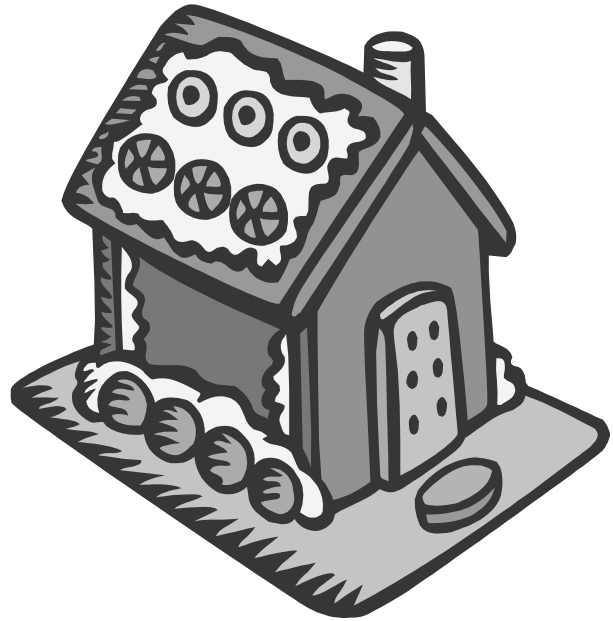
⑬マックの活動は利用者の話を聞くだけでは分からなかったことが多かったので、見ることができとても勉強になりました。スタッフの多くの方が回復者であることも、今後の仕事をやる上でとても希望がもてるものでした。ありがとうございました。

⑭一人の見学のために丁寧なご対応を下さり大変ありがとうございました。どこの事業でも職員の方の思いが伝わり、利用される方々の目標となっている様子が感じられました。社会の中で同じ病で苦しんでいる方が再び社会で思いの生活をしていくための仕組みとしてとても有意義な構成になっていると感じました。ありがとうございました。

⑮依存症の方の直接的な支援は、これまで経験がなく、依存症の方のイメージすらもほとんどない中で（と思っていた）、本日を臨むかたちになりました。実際にそれぞれの施設を見学させていただいて、スタッフや利用者のその姿、語りを目の当たりにし、自分自身の無意識にある誤解に気づきました。（恥ずかしいことですが）。また、自分は自身の弱さに（この人たちと同じ様に、というとおこがましいのですが）向き合っているだろうかと苦しくもなりました。当たり前ですが、私とは比にはならないほどの苦しみ、戦いが一人一人にあるのだろうと想像すると、本当に言葉になりません。（明るい意味です）

⑯周囲からの誤解を招きやすいアクションの課題に対する支援は難しいことだと思います。回復者の方をスタッフとして多く配置することで、正しい理解のもとで、支援が展開されていることを心強く思います。

⑰昼食も参加者の方と一緒にできたので、ミーティング以外の姿も見ることができて良かったと思いました。全体的に参加者の礼儀正しさ、真面目さに感心しました。職員の方はやはり回復した経験があるので、とても信頼関係ができているのが強みだと思いました。



オープンミーティング開催中！  
毎月第3日曜日 PM6：00～7：30  
どなたでも参加できますので気軽に来てくださいね！

主催 みのわマックOB



# 平成30年10月の通所者状況

## ●通所者数

	新規
継続	13
新規	
合計	13(3)

### ①どこから

	所属	継続	新規	合計
病院	N病院	1	0	1
	I病院	0	0	0
	S病院	0	0	0
	その他	1	0	1
	小計	2	2	3
施設	S荘	0	0	0
	Y寮	0	0	0
	その他	1	0	1
	小計	1	0	1
福祉	東京都	7	1	8
	埼玉県	1	0	1
	千葉県	1	0	1
	神奈川	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	9	1	10
自費	東京都	2	0	2
	その他	1	0	1
	小計	3	0	3

ミ ニ ー R	みのわ通所者	11	1	12
	就労者	1	0	1
	計	12	1	13

### ②地域別

	男性
東京都	11
埼玉県	1
千葉県	1
合計	13

### ③年齢別 \*試通・アフター含む

	男性
10代	
20代	1
30代	4
40代	6
50代	5
60代	4
70代	
合計	20

### ④中途終了

	自己都合	スリップ	AA	他施設	その他	合計
理由	0	0	0	0	0	0

### ⑤終了者

	就労	AA	他施設	復職	その他	合計
行き先	0	0	0	0	0	0



## 外プログラム予定

5日	水	調理実習/各班(AM)	滝野川文化会館
9日	日	RDセミナー	ハイライフプラザ板橋
19日	水	マック・ダルクXmas(夕方～)	滝野川会館
26日	水	卓球(AM)	滝野川西ふれあい会館
31日	月	鍋フェロー	みのわマック

### 編集後記

いよいよ、と言うか？とうとう、と言うか？12月になりました。大体この12月号の編集後記には、早いものですね…と云う書き出しをしています。ですが、今年に関しては本当に“平成最後の年”になってしまいました。皆様にとっての平成と云う時代は、どんな時代でしたでしょうか？色々な意味で“激動の時代”だった様に感じます。好景気からのどん底景気、あっという間にIT革命(もう、既に死語ですかね…)で世界中どこにでも即座に連絡が取れたり、職場でも一人一台はパソコンを持っている様になりました。iPS細胞の研究結果として難病治療も進んだ様ですね。しかしながら、依存症と云う病気はここ50年程、“通院・投薬・自助グループ”が主だった治療方針の様です…今回は、そんな依存症者を色々と支援して頂いている福祉行政の方々の“みのわマック見学会”のアンケートを掲載させて頂きました。少し早い様ですが、本年もマック便りを読んで頂き有難うございました。皆様にとっても来年が良い年であります様、お祈りいたします。

みのわマック 川村 良一